

2025年度 日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
薬理学											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	山口貴世志			実務 経験	有	職種	薬学博士				
授業概要											
基本的な薬と人体の関係を学びます。											
到達目標											
基本的な薬と人体の関係を学ぶ。現在の医療現場では、薬剤の知識は必須である。鍼灸施術を受ける患者も何らかの薬剤を使用している場合が多く、薬剤の性質を知ること、副作用の状態や相乗効果を期待するための知識を学びながら、臨床の現場に必要な薬の知識を習得することを目標とする。											
授業方法											
具体的な疾患と良く使われる薬剤を紹介し、どのような薬効を示すかを学ぶ。「薬」の基礎的な概念や薬効を学びながら、身体内でどのような過程を経て効果を発現するかを学ぶ。また、呼吸器、消化器、神経に作用する薬剤を学びながら薬に対する基礎的な知識を習得していく。											
成績評価方法											
期末試験。											
履修上の注意											
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。											
教科書教材											
大鹿英世・吉岡充弘・井関健著：系統看護学講座専門基礎分野、薬理学、疾病のなりたちと回復の促進[3]、医学書院、2018											
回数	授業計画										
第1回	総論 1										
第2回	総論 2										
第3回	抗感染症薬 1										

## 鍼灸科

## 薬理学

第4回	抗感染症薬 2
第5回	抗ガン薬 1
第6回	抗ガン薬 2
第7回	呼吸器に作用する薬物
第8回	消化器・生殖器に作用する薬物
第9回	末梢神経作用薬1
第10回	末梢神経作用薬2
第11回	末梢神経作用薬3
第12回	末梢神経作用薬4
第13回	末梢神経作用薬5
第14回	人体に及ぼす総合的薬理作用
第15回	総合講義